



田中英機 プロフィール

昭和17年岡山県生まれ、国学院大学文学部卒業。文化庁伝統文化課・芸術文化課主任文化財調査官を経て実践女子大学教授(日本芸能史)。現在くらしき作陽大学客員教授、芸能学会常任理事等。平成28年地域文化功労者表彰(文部科学大臣)

こらしょう

堪え性をもって、コロナウイルスに

NPO法人邦楽指導者ネットワーク21 代表理事 田中英機

新型コロナウイルス、中国語です。ウィルス=病毒とは、よくもまあ言ったものです。

政府の緊急事態宣言と都知事の東京アラートの解除は、一瞬、コロナ鎮静化のきざしかと喜ぶも束の間、堪え性を失った日本人を嘲笑うかのように、病毒は逆襲の牙をむきました。東京感染者数、日々3桁の恐怖。私たちの「堪え性の無さ」が、災いを大きくしているように思われます。

当法人の大切な事業「合宿講習会」も、コロナ対応で中止のやむなきに至りました。さる5月9日～10日、豊橋市の豊橋ホテルシーパレスを会場に、宮田耕八朗先生を講師にゲスト演奏家との交流も含めた第15回合奏講習会となるはずでしたが、例の「三密」に縛られて断念せざるを得ませんでした。一方、法人役員会、総会で講習会にかわる企画をという意見があり、目下その方向で考慮中ではありますが、向後の世上動静を見極めながらの計画とならざるを得ないと思われます。

さて私事ながら、数か月ぶりにある演奏会に出かけました。戒厳令下に隠密行動をとるような後ろめたさと緊張を覚えながら会場に。受付でまず検温器が額に、切符のモギリとパンフはセルフサービスで。マスクの立会人は無言の関守。ロビーに人はあれど黙して語らずの静粛。着席番号と氏名住所をカードに記入、席の前後左右は空虚、孤立感がはしる。開演を待つ楽しみの私語は皆無、沈黙してひたすら開幕を待つ、孤独感一。

劇場空間のこの無機質は一体なんだろう。演者演奏者にとっては「晴れの舞台」「檜舞台」、客にとっては祝祭性のなかに芸術的感動を求める絶妙の機会と場(時空)。コロナ用語の「三密」とは真逆の世界です。ウィズコロナの新しい生活様式などというスタイルと音楽・芸能の世界は全く馴染みません。ではコロナ禍中の「舞台」は、これからどうするのか。舞台人に投げかけられた当面喫緊の課題です。他人事ではありません。

新型コロナウイルス感染症と日常生活



常務理事 / 邦楽アンサンブル「和の響」主宰
新井病院 院長 関谷 栄

2019年12月中国の武漢で始まった新型コロナウイルス感染症は、今年に入って日本にも上陸しました。

4月には患者が急増し、その対応も多くの困難が伴いました。決定的なことは、教科書がないことと、時々刻々と対応が変わることでした。ウイルスの特性、サーベイランス(流行状況)、トリアージ(感染の可能性による対応)、区別がつかない臨床症状、使えないPCR検査(当初はPCR検査をなかなかしてもらえなかった)、院内感染対策、病院内

診療体制の見直し、新型コロナウイルス感染症蔓延に伴うメンタルヘルスケアなど多くの問題があります。しかも、毎日のように行政から通知がきます。また、多くの関連学会のホームページに情報が掲載されます。新井病院では、「COVID-19情報」としてその時の新型コロナウイルス感染症について全職員に周知いたしました。情報誌は15週ほど続けました。患者様へ対応するには、正確で確実な情報が必須であり、新井病院の全職員が共有する必要がありました。4か月間新型コロナウイルス感染症についての勉強の毎日でした。感染症下で、県をまたぐ移動も制限されていました。きれいなもの美しい音を求めて、テレビ、You Tubeなどを見聞きました。美しさを感じますが、感動がありません。やはり生の演奏には、生気がみなぎり、心が動かされます。医療と芸術の共生を求めてこれから歩んで行きたいと考えています。

Withコロナの音楽界

作曲家 福嶋頼秀

5月25日に緊急事態宣言が解除されてから、音楽界も演奏会再開に向け、各音楽団体・演奏家・ホールが様々な対策を検討、実践し始めました。ステージ上では、演奏者の間隔を空け、司会者はフェイスシールドを着用する。会場では、お客さまは座席を1つおきに使用しマスクも着ける。プログラムを短時間にして、前後に会場の換気を十分に行う、等々。にもかかわらず、7月に都内の小劇場で集団感染が発生したりと、まだまだ予断を許さない状況が続いています。



みなさんの中にもコンサートを主催し、対応に苦慮されている方がいらっしゃるかと思います。参考資料として、全国公立文化施設協会の「新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」などがありますので、ネットで検索してみてください。

コロナ対応で今、企業も個人もネット環境へのインフラ整備などが進みつつあります。となると今後の音楽界は、それらを活用した動画配信等のウエイトが大きくなる事は間違いないでしょう。現実問題として、それに対応できるかどうか、今後の生き残りのカギとなってきます。

私事ですが、『邦楽ジャーナル・7月号』のステイホーム応援企画として、『花・風・いのち』という曲が掲載されました。これは最近流行っているリモート演奏（＝ネットを活用して、遠隔地でアンサンブルを行う）にも対応しやすい様な、尺八と箏の2重奏（弾き歌いでも可）という小品。縦譜も出版され、動画も準備して頂いています。今後はこういった発信・演奏方法も増えてくるでしょう。

常識講座・後編の3



作曲家・尺八演奏家
宮田耕八朗

遊郭と花魁と芝居について述べましたが、更に私たちに身近な地歌とのかかわりを見てみましょう。地歌の題材に遊女の儂い身の上を歌ったものがかなりあるのはご存知ですね。でも実際アーとかウーとか歌っていて意味不明で、もう全然身近じゃないという方も多くなったと思いますけど、ちょっとお付き合いください。芝居では華やかな花魁が見栄えがしますが地歌は地味です。

時代劇でみるような格子の中から必死に客を招き入れようとする女郎や、もう遊郭からはお祓い箱になった夜鷹などを想像してください。貧農の娘が口減らしに売られ、売る親も売られた娘も悲惨な生涯を送ります。武士は殿様にへつらい、上役にへつらい、殿様は將軍にへつらい、商人は客にへつらい番頭は主人にへつらい小僧を小突き回す。そんな上下の厳しい世の人々が自分より悲惨な人々を見下して安堵し身近にも思える。地歌の作曲者は盲人で、そこにも階級がありますし師匠と言われ、その頂点に立ってさえ差別からは逃れられないのでした。

「楫枕」という涙無しには聞けない地歌の極致とも言える作品は、遊女の儂い身の上を小舟に揺られるような身に例えた・・・という説明もありますが、それより実際に小舟を宿とする「ふなまんじゅう」と言う最低の遊女を思い浮かべると歌詞と曲調が合点がいきます。歌の節は流派によって随分変化していて元の節はどんなだったのか見当もつかなくなっていますが、それでも流石に名曲で残っているところは残っています。「流れわたりに浮かれて暮らす」面白おかしく浮かれているわけではないけれど浮いて漂う惨めな我が身を捨てばちに「浮かれてー」と哀れに叫び「エーエ」とため息をつく絶妙な節付けが、どうも理解して歌われていないようですけど形としては残っています。

そして男女の結びつき、結婚を立場や親が決める事が当たり前だった時代に、世の底辺に生きた女と、それを買うのがこれまた生涯所帯を持つことの叶わない底辺に生きた男とが身を寄せ暖め合い「岸の上の松の根方に結びとめてや」と叶わぬ夢を歌うのが楫枕です。

会員の活動状況



埼玉県 箏曲福寿会 戸塚順子



新型コロナウイルスで大変なことになっています。箏曲福寿会では、1月のリコーダーアンサンブルとのお正月コンサート、2月の地元大学でのコンサートを最後に、3月ひなまつり、4月桜まつり、5月名古屋合宿、7月朝顔市と全てのイベント・コンサートが中止になりました。学校行事もそうです。毎月たくさんのイベント・演奏会に追われる日々だったのも懐かしく、有難い事と思い直しました。すべての状況が様変わりする中でここはじっくり古典に取り組んだり、持ち曲の

完成度を高めようと5月からは三密を避けて練習に励んでいます。これから先どうなるかわかりませんが、12月20日の「子供達による箏未来花コンサート」に向けて頑張ろうと思います。一日も早く安心して日常生活や演奏活動が出来るよう願っております。

◆箏曲福寿会 おとめ座 ホームページ: <http://otomeza-f.tumblr.com/>



福島県 桐音会 後藤礼子



箏と習字教室を曜日別に行っていますが、近所から感染者が出た為、4・5月は全て休みにしました。6月より時間を割り振り再開しました。月謝はその月の5日迄納入の為、問題はありませんでした。三密・換気は勿論ですが、対策として教室に入る前に手だけでなく全身、更に持ち物まで1人1人コンプレッサーを使い除菌しています(ノンアルコール除菌) 家族(夫)は理解の上、協力してくれています。7月と9月の海外演奏(ロシア)も中止となり、その他の国内演奏も全て中止。テンションも下がり少々気持ちも落ち込みましたが、この際初心に戻り“演奏会が出来ない今だからこそ腕をあげる!”を目標に基礎の技法から学んでいます。保護者の方々も協力し送り迎えをしてくれています。



熊本県 熊本支部 熊本お琴教室 鎗水喜代美



熊本では5月8日以降コロナ感染者は出でらず一応の落ち着きを取り戻しています。色々悩みましたが保護者の希望もあり稽古は一週も休まず続けました。しかし年内の演奏会等は全て中止になり先が見えない状況です。そうしたなか、熊本県立劇場が「ケンゲイ・チャンセル」#おうちで拍手を!という活動の場を作りました。私達熊本箏演奏者協会も申し込みをして採択されました。熊本県立劇場のホームページかユーチューブから見て頂けたら幸いです。そして今度は7月の豪雨です。熊本市内は被害が出ていませんが県の北部と南部で甚大な被害が起きました。2016年の地震の復旧も終わらないうちに 次々と災難が。

◆ YouTube 検索表示名: 【#おうちで拍手を!】熊本箏演奏者協会



静岡県 箏曲妙の会 佐野妙子



今年度の親子教室事業、採択されましたが コロナ感染で日々状況が変化している中実施出来るか心配ですが、学校側からは9月からと回答を頂きました。今現在その先の具体的な話し合いは出来ていません。個人稽古は6月より始めています。マスク着用、部屋の換気をし1m以上離して学習しています。市の催し物が中止になり目標が無くなり、お教室内のおさらい会を秋頃の予定に向かって学習に励んでいます。久々に稽古が始まり近況報告になり、どんな自粛生活だったか?マスクも店頭から消え自分で自作の手作りマスクに挑戦した方や 以前経験の無い園芸に「トマト、なす、絹さや、オクラ、ピーマン」等 植えて毎日実が付き収穫を楽しみにわくわくしています。



新潟県 加茂支部 箏曲理音会 高橋理香



加茂邦楽こども教室の活動は今年度16年目となりました。文化庁の補助に加え加茂市の補助もあり、年間通し約30回ほど開講しております。年間通し受講できるため、長く継続する子ども達が多いことが大変嬉しいことです。今年は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、教育委員会と話し合い、6月半ばまで約4ヵ月休講にしました。現在は、グループでの練習を避け、短時間での個人指導で対応しています。通常の稽古は、当会主催の「加茂新春コンサート」に向けての練習です。その他に、特別教室を年数回設け、演奏家の演奏を聴き指導を受ける等、より質の高い内容にできるように努めております。箏曲の種を撒き続けて16年。長い時間をかけながら、箏曲人口の多い、また質の高い市になってくれることを願いながら活動を続けております。本年9/6(日)には高橋 理香箏三絃門下生コンサートを新潟市芸術文化会館(りゅーとびあ能楽堂)にて新潟日報社の後援で開催します。



東京都 調布市 平成尺八塾／歌碑設立委員会会長 門傳良男



調布市布田小学校では学校開放が未だなので、親子教室の開催ができていません。活動が可能になるその時期を待っているところですが非常に前途多難です。お琴はまだ希望がありますが、特に尺八は息を使うので、管楽器は活動ができないといわれています。前年度になりますが令和2年1月末に参加した第6回和の出会いに出演しましたが、全国一斉休校で記念写真も渡せない状況で活動がストップしてしまいました。個人活動としては「親子で歌い継ぐ日本の歌百選」に選ばれ、柴崎駅の駅メロにもなった調布ゆかりのうた「今日の日はさようなら」の歌碑「歌のモニュメント」が2018年11月17日、つつじヶ丘児童館に建立されました。この曲が調布で誕生したことを、ぜひ、多くの人たちに知ってもらいたいため、コンサートの終わりには毎回「今日の日はさようなら」を歌っています。



山口県 山口支部 箏友会 佐藤眞由美



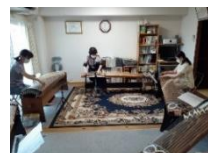
山口は都会ほど感染者が出ていないとは言え、年内のイベント・演奏会が全て中止になり、目標が無くなってしまい、子ども達のモチベーションも下がりっぱなし！そこで、「紅蓮華」をやってみる？？と言ったとたんみんなの目が輝きました。子どもは正直です。休憩もしないで練習するのです（笑）。そんな時、ある新人さんの一言で、会員のみの発表会をすることになりました。対外的にはお稽古の延長。その実は発表会です。もちろんコロナ対策は万全!!おかげで今、マスク・換気・消毒・検温・参加者の連絡先記入等、厳しい制約の中、みんなお稽古がんばっています。感染拡大していない地方ならではの幸せな一歩です。感謝！



福岡県 NPO 和楽啓明 東島啓子



今年度「東アジア文化都市 2020 北九州 パートナシップ事業」に採択されていましたが、全てが延期になりました。中でも9月27日のホール(826席)でのコンサートについて無観客や撮影方式など検討を重ねましたが、結局来年4月11日に延期することになりました。1月頃から実行委員会の会議をオンラインでしていたので、数名を除いて個人レッスンもオンラインで続けました。教室に通う人のお稽古は約2メートル空けています。7月からやっと合奏練習を始め、会場を借りて尺八も加わります。感染防止策は講じるものの、1人でも感染者が出たらと思うと、非常に怖いです。早く収束してほしいと祈っています。



東京都 調布三曲協会 柴田裕子



私が、所属している調布三曲協会では、調布市文化・コミュニティ財団の支援を受け、7月19日から「伝統文化親子教室」を開催しています。受講生は小学3年生～6年生19名、うち男子は3名。爪作成の日子供達は、緊張した面持ちながら、希望に溢れた様子でしたので、改めて指導者としての責任を感じました。7月初めに、小学校4年生の箏体験指導に伺った時、校長先生は、「自粛ばかりでは、子供達が可哀想なのでお願いしました。」と積極的に温かい言葉を頂きました。コロナ感染の不安はつきませんが、11月8日には調布市文化祭に参加者し、子供教室も出演します。



東京都 邦楽みなのか 原田眞樹子



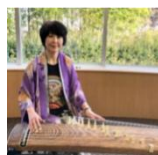
毎年、小学校の解放部分にある音楽室をお借りして伝統教室を行っています。今年度は、校長副校長が代わり、音楽の先生に交渉していただきました。授業で箏を毎年4年生に各クラス2時間ずつ教えていたこともあり、何とか伝統教室が行えないか、音楽の先生経由で管理職の方に相談していただきました。箏爪の消毒、糸の消毒、ドアノブの消毒を徹底し、密を避けて行うなど、事細かに連絡しておりました。しかし、7月に入って東京都のコロナウイルスの感染者が毎日3桁となり、学校側から「1学期は外部の人は入れない」との通達が来ました。2学期になって、コロナの状況が落ち着いたら、伝統教室も音楽の授業も行う予定となっております。1期生から続いた助手の為にも、待っている教室の子の為にも、コロナが落ち着くのを祈るばかりです。



東京都 箏曲かつの会 村田美果



伝統文化親子教室は毎年、近くの小学校をお借りして夏休みを中心に活動していましたが、準備など間に合わず不安もありましたので、やむ得なく中止とさせて頂きました。自宅でのお稽古は4月中はお休みしていましたが、5月からはマスク着用で普段通り始めています。定期的に伺っている老人施設やレストランでの演奏は、まだ見通しは立っていません。その中の一つの八王子にあるキッチンなかやまは煮込みハンバーグが美味しくて、ママさんは気さくでとても楽しい方です。混んでいる時は、手の届く距離からお客様に観られるので、集中出来ずミスをした事もありますが、拍手を頂いたり声をかけて頂いた時は、とても嬉しい気持ちになります。今は演奏は控えています、落ち着いたらまたお客様に楽しいひと時を過ごして頂けるように、心を込めて演奏したいと思っています。



東京都 長唄智の会 今藤政智



学校では分散登校や授業短縮、行事中止等、日々状況が変わる中で、例年通りの親子教室開催は難しいと考えております。開催スタイルとして自宅での1対1の対面レッスンやオンラインレッスンも認められるようなので、その方向も検討しているところです。自宅のお稽古場では緊急事態宣言解除前は希望者のみオンラインレッスンを行っていました。解除後、通常の対面レッスンは6月下旬より再開しております。レッスン料に関しては月謝制ではなくワンレッスン制なので問題ないです。対面レッスンでは2メートルくらい離れ、座る位置はお弟子さんの正面にならないように横にずれて座りお稽古しています。当初はフェイスシールドを付けてお稽古していましたが、弾き唄いをするのですぐに曇ってしまいやめました。他に現在は体験レッスンや新規のお弟子さんの受け入れを中止しています。

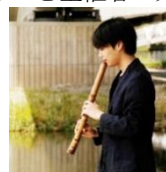


◆今藤政智 オフィシャルweb サイト : <https://masatomo.from.tv/>

東京都 よろず臥待つ月の会 風間禅寿



中学生の時から欠かさず参加しておりました合宿が中止となり、丸二年お会いできないと思うと寂しいですね。コロナで困っていることといえばやはりコンサート事情でしょうか。企画が現れては消えてを繰り返しているのが現状です。いざ実施しようとしても警戒感からチケットなどの売り上げも厳しいと主催者の方は仰っていました。今後はオンラインでのコンサート配信も増えてくると思うので普段遠方で見ただけの方でも是非風間禅寿公式ホームページをチェックしてみてください！来年こそ皆さんとお会いできることを願っております。



◆Kazama Zenji オフィシャルweb サイト : <https://kazamazenji.com/>

東京都 箏曲あさの会代表 望月亜紗子



3月から環境が一変して、今年度のお箏教室は自粛の気持ちでした。小学校側に相談しましたら、開催の承諾を頂きました！もちろん、衛生面やソーシャルディスタンスに十分に配慮と色々あります。当日まで開催出来るかも分からない状態ですが、開催出来たら嬉しいですね。高校の部活も6月末から漸く再開したものの、テスト後、7月末までオンライン授業のため部活は中止。4月の部活紹介も出来ないまま、9月の文化祭で新一年生に初めて演奏を披露予定。限られた時間の中で、吸収しようと高校生も頑張っています。私も含め人前で演奏できる環境が恋しいです。



◆箏奏者 望月亜紗子 オフィシャルweb サイト : <https://www.asako-mochizuki.com>

台湾からのおたより

台湾 徐宿理



2020年は新型コロナウイルスの影響により、イベントが相次いでキャンセルとなってしまう、日本に合宿へ行くことが叶わなくなりましたが、私達は台湾でウイルスにも照り付ける太陽にもめげることなく、日々邦楽活動に取り組んでいます。私達は日本で披露する予定だった曲目を、台湾でコンサートを開いて披露しています。私と尺八担当の劉穎蓉先生はこの期間、いくつも演奏動画を録り、インターネットや毎週出演するラジオ番組を通じて、私達が演奏した邦楽曲を全国へ発信し紹介しています。また音楽の普及活動にも力を入れており、先日催したワークショップでは、6歳のお子様から60歳のご年配の方まで様々な年齢層の参加者がみえました。別日にコミュニティ・カレッジにて開いた音楽クラスでは日本音楽の知識を伝えることができました。他にも、各種歴史的演奏法や、台湾史における邦楽の意義、箏曲へ編曲された台湾楽曲などについて紹介する箏の中国語教材の制作計画を、この度政府に提出いたしました。

今回日本の皆さんと直接お会いすることは叶いませんが、その間も私達は台湾で精力的に音楽活動に取り組み続け、再び日本の皆さんとお会いできる日を心より楽しみにしています。

◆箏、尺八によるユニット「華之和音」

YouTube <https://www.youtube.com/channel/UCuw-tgM9d-IguBZ0KQGhVpg>



NPO 法人邦楽指導者ネットワーク 21 の今後を考える

常務理事 石森康雄



コロナ旋風の中にあって世の中の催し物の予定や計画も大きく規制されたり制限されています。

合奏講習会等、会場確保や内容の見直し等も含めて新たな活動について考えています。

一年間は本部活動を休止して、2022 年に入って次のような活動を検討中です。

合宿時に行われていた参加者コンサートの流れを一部の舞台とし、二部の舞台は今までなかったポピュラーな曲を中心としたコンサートをしてみたいという話をしています。古きものを大切に守り残すとともに、あたらしい邦楽の流れを生み出していく観客が喜び楽しめる舞台を作り、新しい会員を迎えられれば、会としてもまた一歩前進するのではないかと思います。15 周年が終わった後にコロナ問題での空白時を越して 16 回目から新しい形で NPO 法人邦楽指導者ネットワーク 21 をみんなで始動させてみませんか？

※支援団体ご紹介 いつもご支援誠にありがとうございます。

粕江支部 代表 渡辺泰子	調布支部 代表 石森康雄	熊本支部 代表 熊本お箏教室	山口支部 代表 佐藤真由美	加茂支部 代表 高橋 理香
埼玉県 日本文化の会 戸塚順子	兵庫県 榎の会 鈴木晴椰	大阪府 箏糸会 今村慶子	東京都 平成尺八塾 高野義彦	静岡県 箏曲妙の会 佐野 妙子
愛知県 彩楓会 佐藤友相	福島県 桐音会 後藤礼子	愛知県 箏曲明由の会 山本明由子	東京都 箏曲恭音会 坂本恭子	山形県 彩音会 仲條京子
東京都 みなのか 原田真樹子	東京都 夢の会 田代せつ子	東京都 箏曲あさの会 望月亜紗子	新潟県 箏曲翔の会 坂田翔祐	埼玉県 桐の会 仲林光子
神奈川県 箏曲都の音会 川端 都	東京都 箏曲かつの会 村田美果	東京都 三味線長唄 智の会	東京都 箏曲さくらの会 鎌澤さくら	(学)小牧幼稚園 園長 小林 牧江
箏音楽合奏団 指揮者 石森 康雄	宮城野楽器店 代表 白澤 功 ☎044-922-3439	山形屋琴三絃店 代表 日原 仁 ☎055-252-2110	(有)明鏡楽器 代表 渡辺 嬢 ☎03-3623-6349	琴光堂和楽器店 代表 中島 昌之 ☎0266-52-2341

決算報告 R.1/4.1~R.2/3.31. 単位:円	
【経常収入の部】	
会費収入	1,022,000
事業収入	4,017,142
寄付金収入	877,000
助成金収入	700,000
銀行預金利息	17
経常収入合計	6,616,159
【経常支出の部】	
事業費	5,203,102
管理費	1,486,571
当期正味財産増減額	-73,514
経常支出合計	6,616,159

寄付金詳細 R.1/4.1~R.2/3.31. 単位:円	
個人及び支援団体より	
田中英機	122,000
西角井 正大	120,000
渡辺泰子	110,000
石森康雄	100,000
関谷 栄	100,000
門傳良男	100,000
戸塚順子	100,000
後藤礼子	50,000
佐野 妙子	50,000
鈴木晴椰	25,000
寄付金合計	877,000

— 編集後記 —

企画していた演奏会などが中止になり、肩を落として
いる方も多いのではないのでしょうか。
私自身、緊急事態宣言が解除されてからも不要不急の
外出は控えるようになり、各種会議はオンライン映像に切り替わった
り、外出時はマスク着用が定着したりと、生活スタイルがガラリと変わ
りました。
そんな中、在宅時間が増えたので、久しぶりに三味線に挑戦しています。
今年 12 月の演奏会は開催できることを願いつつ練習に励んで参りま
す！みなさまは何か良い生活の変化はありましたか？

「たより 35 号」編集担代表 前田香織

編集補助 (村田美果・下谷峰子・西山麻弥子・渡辺泰子)



— 本田宗一郎の名言から —

人間というものは、悲しさ、無念さを心底から味わいながら、それに耐えなければならない。
長い人生の中で、一年や二年の遅れは、モノの数ではない。